



めばえ

あけぼの保育園
令和4年10月1日
発行 第7号

園長先生からのメッセージ

ようやく、コロナ発症者数も減少傾向に入り、生活行動の制限が緩和されようとしています。ワクチン接種も進んでいるようですがそれでもまだ、気を緩めることはできませんね。

さて、今月は「衣替え」です。季節の変わり目に行われるこの風習は、四季の移り変わりの中で考えた生活の知恵ですね。でも、衣服の調節はお子様の状態で判断してくださいね。

行事としては、記録会やプラネタリウム観賞、生活発表会総連ハロウィンなどですが、活動や体験を通して子ども達の興味関心を広げ、運動会で頑張って取組んだ気持ちを大切に受けとめながら成長の充実期として大切にしたいと思います。

気持ちが急くかと思いますが、来月、実施予定の生活発表会では保護者様の人数制限や時間の変更など、実施に向けてご理解とご協力が必要ですが、十分に配慮しながら楽しい行事にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。そして、子ども達の楽しみにしている「ハロウィン」があります。「怖い、恐ろしい」体験ではなく、驚かせたり、驚いたり、少しでもお祭り騒ぎですがちょっとした「いたずら」心を子ども達皆で楽しみます。保育園の中では、家とは異なり、ちょっとお利口さんでがんばっているのだから「がんばること」「一生懸命に目標を目指して」等の他にもユーモアや、やさしさなどをしっかりと感じてほしいと思います。

子ども達の日々の成長とがんばる姿をご家族一緒にエールを贈っていただけたらと考えています。秋から冬にかけてもコロナ禍という生活様式でも、楽しく過ごす工夫に取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。